

科目名	技術経営論入門A				授業形態		開講期間	4月5日～5月31日	
	英文科目名	Introduction to Management of Technology A			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○		開講時間	火曜日 第5講時 16:30～18:00	
受講定員等	担当教員 木綿 隆弘, 川上 文清, 田中 一郎, 西山 貞雄, 小松 武志						開講場所	金沢大学 自然科学大講義棟1階 大講義室A	
	単位数 1単位 定員数 180名 特別聴講学生等定員 科目等履修生定員 若干 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等						成績評価の方法	◆講師毎にレポートで評価を受けます。 ◆コーディネーターは各講師の評価を 総合して成績判定を行います。	
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：未定				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	5,000円
科目の内容	<p>本講義は、技術経営（MOT）とは何か、その必要性、その背景、構成する基礎分野、応用など事例紹介を交えて興味深く紹介し、技術経営学を学ぶ動機付けになることを目指します。以下の4つの項目について、講義を行います。</p> <p>(1)「概論」(川上)：MOTとは何か、科学と技術の違い、研究と開発の違いを解説する。更に企業とは何か、企業での研究・開発・事業化・産業化の流れとそのマネジメント、財務諸表の見方について概説する。また、技術系の学生が企業で働くための基礎知識として、損益分岐点分析、知的財産権の基礎、法令順守（コンプライアンス）について概説する。</p> <p>(2)「科学技術政策と先端科学研究・技術動向、最近の技術史」(田中)：なぜ1990年代に米国に敗れたか。我が国の製造業の特徴を考察し、諸外国との競合関係の中でどのような変容を遂げてきたか、事例を挙げて論じ、今後どのような戦略を採用すべきかについて考える。</p> <p>(3)「開発計画の事例」(西山)：アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着ける。</p> <p>(4)「技術開発とグローバル競争」(小松)：R&Dに携わる技術者には、他者にはない競争力に優れたプロダクトの開発が求められている。しかしながら、優れた技術であっても市場で優位なポジションを占めることができない事例が散見される。そこで、講師の専門分野である電池開発等の事例や歴史を参考にしながら、今後のR&Dに必要な方針や施策について学習する。</p>							その他特記事項	
	授業担当教員紹介		URL	https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=2273					
ホームページ・メールアドレス等		E-mail	kiwata@se.kanazawa-u.ac.jp						